

東日本大震災と東京電力福島第1原発事故から丸4年を迎えるのを前に、県内の宗教関係者らによる追悼の集いが8日、福井市の西別院で開かれる。宗派を超えて犠牲者の冥福を祈るとともに、復興への願いを一つにする。

未曾有の複合災害で失われた命、家、故郷などに思いをはせ、祈りをささげようと、2011年秋に県内の宗教者有志らで結成されたグループ「TERRAねっと福井」が企画。今年で4度目となる。

追悼式では、被災地へのメッセージなどが書かれた花びらの形をした紙を僧侶らがまく「散華」を行う。当日会場

## 復興へ宗派超え心一つ

### 県内宗教関係者ら 福井で8日追悼集い



でメッセージを書くことができた。

鯖江市の音楽家野尻ゆう子さん、浄土真宗本願寺派福井

追悼の集いの打ち合わせをするTERRAねっと福井のメンバー。散華に使う花びら形の紙とチラシを手に参加を呼びかける佐々本代表＝福井市内

教区の寺族婦人合唱団「コール無憂華」が歌を披露する。災害ボランティアや支援した行政職員らが被災地の現状を語るミニトーク、被災者らのビデオレター上映を行うほか、本の朗読、被災地のグッズ販売もある。

代表で鯖江市の専光寺住職佐々本尚さん(41)は「母子避難など今も大変な生活を強いられている被災者が多くいることを知ることが、何ができるかを考えたり、思いをはせたりする時間を共有したい」と話している。

参加無料。午後2時～4時半。問い合わせは佐々本さん ☎090(3299)4974。

(竹内史幸)

東日本大震災4年 祈りを支援を……